

図書館だより

第27号

八千代市立大和田図書館 482 - 3240

八千代台図書館 482 - 0912

勝田台図書館 484 - 4946

緑が丘図書館 489 - 4946

ホームページ <http://www.library.yachiyo.chiba.jp>

視聴覚資料を利用してみませんか。

視聴覚資料については、緑が丘図書館でDVDとCDを収集し、八千代台図書館でビデオを収集しています。DVDは404タイトル、CDは2,112タイトル、ビデオは772タイトルです。緑が丘図書館や八千代台図書館へ行かなくとも、各図書館で予約をすれば、受取りが可能です。貸出できる方は、中学生以上で一人2点までです。

資料の探し方は図書館にあるパソコンやホームページの検索メニューからジャンル(CD:交響曲、現代音楽、ジャズ等 DVD・ビデオ:外国映画、日本映画、アニメーション等)で調べ、利用券番号とパスワードを入力して予約する方法が便利です。また、パソコンの操作が苦手な方には所蔵リストがあります。



視聴覚資料の貸出・返却・予約などの詳しいご利用方法やお探しの資料がある場合は各館の職員にお気軽にお尋ねください。

よく貸出されたCDは (2008年8月～2009年1月末)

順位	タイトル名	演奏者	貸出数
1	嵐・Single Collection:1999-2001	嵐	27
2	歌バカ	平井堅	23
	BEST	中島美嘉	23
	jupiter	BUMP OF CHICKEN	23
5	イマジネーション・レノ オリジナル・サウンドトラック	ジョン・レノ	22
6	THK LOVE ROCKS	DREAM COME TRUE	20
7	MUSIC	中島美嘉	19
	1st CONTACT	ルンジ・レゾ	19
	SINGLE BEST	EXILE	19

～闘病記をご存じですか～

闘病記とは、患者が病気と闘った手記です。闘病記には病気をどう捉え、病とどう向き合っどう生きるかという「生き方情報」が綴られています。

今までは公共図書館では「闘病記」はあまり重視されてきませんでした。しかし、患者自身の体験から発した情報である「闘病記」は、同じ病気にかかった人にとって参考になり価値のある情報が多くあります。

図書館では医療情報サービス提供の一つとして病名から図書を探ることができる「闘病記リスト」をホームページに作成しました。

なぜ闘病記なの

「闘病のためには、何を知らなければならないのか。それは次の二つだ。」と柳田邦男は「元気の出る患者学」(新潮新書)で書いています。

1. 病気と治療法について正しく理解する。
2. 生き方についていろいろな人の例を知り、自分なりの道を考える。

このように、「病気」について知ること、「生き方」について知ることが意味のある闘病になるものである...と。

もし病気になったら皆さんどうしますか。

ご自分でなくても、家族、知人が病気になったとき、病気について調べたいと思った時どうしますか。大半の方は医学書を手にとることでしょう。インターネットで調べる方もいるでしょう。身近に同じ病気にかかった方がいればその方に聞くこともあるでしょう。医学書にはもちろん薬や治療法について知りたい情報がのっています。

でも本当に知りたいことはそれだけでしょう

か。もし難病だったら、まず知りたいのは今後の仕事や生活はどうなるのか。どのように治療したのか。日々の不安をどのように解消して病気と向き合っいったのかなど、患者の本音で書かれた情報ではないでしょうか。同じ病気を患っている人の体験談には説得力があり、「闘病記」を読むことで勇気づけられ心の負担が軽くなったりします。

闘病記はそれぞれの思いや事情を背景に書かれ

ています、実用情報だけでなく、患者としての心構え、家族との軋轢、医療への不信、社会の矛盾などさまざまな状況を肌でつかむことができます。

これらのことが病気になった人々のこれからの「生き方」について支えになるのではないのでしょうか。

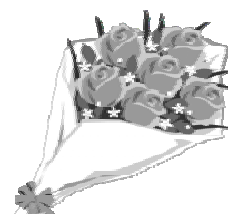
「闘病記を読む」7カ条

1. 患者さんが100人いれば100通りの闘病生活があります
2. 治療法は日々進歩しているので、闘病記中の特定の治療法にあまり目を奪われないようにしましょう
3. 闘病記が書かれた時期や住んでいる地域の特殊性に注意すること
4. 同じ病気の闘病記をできるだけ何冊か読み比べるとよいでしょう
5. 筆者が有名人か否かにこだわらないこと
6. 主治医になったつもりで客観的に読んでみる必要も
7. 宗教、健康食品がらみのPR本には要注意

闘病記古書店「パラメディカ」店主 星野史雄氏の提言

(日経 BP 社「がんナビ」)より引用

参考文献:「からだと病気の情報をさがす・届ける」健康情報棚



闘病記を探すには



図書館のホームページからこの「闘病記リスト」をご覧になるには、図書館のデータをクリックします。データの一覧の中に、「闘病記リスト」があります。

がん、脳、その他の3種類に分かれており、探したい病名をクリックすると同じ病気の「闘病記」の一覧をみることができます。現在400冊位登録してあります。

リンク集にも「医学・医療情報」に闘病記ライブラリーや患者会と障害者団体のリンクなど役に立つサイトを紹介しています。

闘病記コーナーができました

今まで闘病記は文学やノンフィクション、医学等の棚にばらばらに置いてありました。棚からさがすにしても、題に病名がないと探すのが難しいといった状態でした。緑が丘図書館では、医療情報コーナーの中に「闘病記コーナー」を作り、闘病記の図書を一か所にまとめて探しやすくしました。



市内在住の方の闘病記

工藤 矩弘 氏 「遙かなる道」

島 利栄子 氏 「母の早春賦」

「余命1ヶ月の花嫁」

TBS「イブニング・ファイブ」編 マガジンハウス

24歳の女性が懸命に生きた「現実」の記録。乳がんを闘い、最後まで人を愛し、人に愛され、人を支え、人に支えられた人生を生き抜いた長島千恵さんの愛といのちのメッセージを紹介。TBSで放送のドキュメンタリーを書籍化。

「種まく子供たち - 小児ガンを体験した7人の物語 -」

佐藤律子編 ポプラ社

がんを体験して元気になった3人と、亡くなった4人の子供の実体験が収められている。「24時間テレビ 愛は地球を救う」や、「3年B組金八先生」などで取り上げられ小学生から年配のかたまで広く読まれている。

「あきらめない - 脳梗塞からの挑戦 -」

西城秀樹著 二見書房

2003年に脳梗塞を発症した歌手・西城秀樹。厳しい闘病生活の中、絶望への歯止めになっていたのは、いつも心に秘めてつぶやいていた「あきらめない」という言葉だった…。家族の支え、病いで得た苦悩、教訓などを率直に綴る。



講演会のお知らせ

病気体験、闘病記ってなあに？

～自分や家族が病気になったとき～

日時 3月14日(土) 10時～11時30分

場所 緑が丘プラザ 5階 集会ホール

申込 ホームページ及び電話または直接

カウンターへ 489-4946

講師 星野史雄氏プロフィール

1952年秋田県生まれ。1976年早稲田大学中国文学科卒業。1980年同大学大学院修士課程修了。慶応義塾大学斯道文庫嘱託などを経て、1984年から1997年まで代々木ゼミナール勤務。1998年に患者のためオンライン古書店パラメディカを開店。2000年からは東京家政大学非常勤講師として学生や社会人に、生きるための「情報検索」術を教えている。



ばくしょ

曝書

「虫干し」から「読み込み」へ

「曝書」...ふだんはあまり耳にすることのない言葉ですね。広辞苑には「書物の虫干し。土用の晴天の日をえらんで行う。」と書かれています。

湿気が多い我が国では、昔から本を外気や日光に曝(さら)して虫食いやカビの害をふせいできました。およそ11万冊を所蔵していたという徳川将軍家の図書館「紅葉山文庫」では、書物奉行の指揮のもと、毎年数十日にわたる大々的な曝書が行われていたことが記録されています。また栃木県の史跡「足利学校」では、書院の畳の上に蔵書を置き並べて風をとおす作業が、江戸時代からの伝統行事として現在まで受けつがれています。

今日、全国のほとんどの図書館では、年に一度、この「曝書」にあたる「蔵書点検」を行っています。作業の内容は、昔の虫干しに代わって所蔵のデータと現物との照合が主となりましたが、「曝書」の用語はいまでも使用され続け、夏の季語として歳時記にも載っています。

八千代市の図書館では、蔵書点検中は通常のスistemを蔵書点検用のシステムに切り替え、職員が総力をあげて作業にあたります。書架のあいだを縫うようにして1冊1冊のバーコードを端末機に読み込ませてゆく作業は、まさに蔵書点検の山場。膨大な資料を前に、一同の気迫もひとしおです。

点検の開始時における八千代市立図書館の所蔵資料は、雑誌及びビデオ、CD、DVDなどの視聴覚資料を含め約430,000点。すべての照合作業を終えたあと、ただちに書架の整理にかかります。棚の清掃や配列の変更、本の手入れなども同時に行



い、より快適に利用していただけるよう、皆様のご来館をお待ちしています。

2月23日(月)から27日(金)まで、蔵書点検のため、大和田、八千代台、勝田台、緑が丘の各図書館は休館します。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。休館中の本の返却については、ブックポストをご利用ください。

市内在住の方の著書を紹介します！

絵手紙さんば 瀧下むつ子 文・絵 瀧下白峰 書 日貿出版

新川にかかる村上橋の近くにご夫妻の念願の美術館がオープンし、その記念となる書です。八千代市の自然をこよなく愛し、四季折々の草花に語りかける珠玉の言葉は心をリフレッシュさせてくれます。



八日市場の土に生きる 聞き書き 樫もとの生活史 岩本紀子編者

八日市場市の農家に嫁ぎ、90歳を過ぎても、行動的な樫もとさんを6年間かけて取材。大正・昭和・平成の時代に翻弄されながらも自分を見失わない生き方にひきこまれる作品です。



図書館だより 第27号

平成21年2月発行

編集 八千代台図書館

八千代市八千代台北6-7-6

047-482-0912